

あなたの知らない日光

関東 No.1 の水質 日光市最北端—三依地区—

紹介
マップ

おいしい水と空気に包まれて

今日も“みより”日和

MIYORI-BIYORI



鬼怒川・利根川の源流、男鹿川。日光市三依地区にはこの男鹿川の清流が育む美しい風景が広がっています。

サイダーゼリーのように美しい清流が流れる三依の水は、ミネラルウォーターより甘いとも言われる美味しい水。

山間部のため気温があまり上がらず、夏の寝苦しい夜にはぐっすり眠りたい人々が訪れます。晴れた日の夜には満点の星空が。

世界中から多くの観光客が訪れる日光ですが、きっとまだあなたの知らない日光が待っているはずです。

今すぐ癒されたいあなたへ。
東京から2時間50分、豊かな大自然に包まれてみませんか。

三依地区についての詳しい情報はこちら
三依地区観光サイト「ひいふうみより」



三依地区マップ作り有志（横川自治会、上三依自治会、中三依自治会、芹沢自治会、独結沢自治会、五十里自治会）、（一社）日光市観光協会、日光市、国土交通省五十里ダム管理支所

問い合わせ：日光市三依地区センター TEL:0288-79-0211
国土交通省 五十里ダム管理支所 TEL:0288-78-0071
https://twitter.com/mlit_ikari_d (五十里ダム Twitter)

このマップは、水源地域ビジョンの取り組みとして制作したものです。2020年3月制作

蕎麦

みよりの水でつくる蕎麦が美味しい
蕎麦好きなら何度も来て
食べ比べたい「みよりそば街道」

日本全国、蕎麦の美味しい地域は多いですが、三依にもたくさんのお蕎麦屋さんがあり、国道121号は「みよりそば街道」と呼ばれています。

南の五十里から北の横川まで、山菜やきのこなど地域の特産品と合わせた蕎麦を提供するお店が並んでいます。

会津西街道を旅した先人たちも、三依で美味しい蕎麦を食べて腹ごしらえをしたのでしょうか。何度も訪れてそれぞれのお店の蕎麦を食べ比べたいです。



ツンとした香りが爽やか
男鹿川の清流で育つわさび

三依で蕎麦を頂く際に嬉しいのが、わさびも地元栽培の新鮮で香りの良いものが多く使われているということ。しかし、近年の豪雨災害でわさび田は甚大な被害を受けてしまいました。今なお復興の途上ではありますが、わさび漬やふりかけなどの加工品の販売にも力を入れて頑張っています。



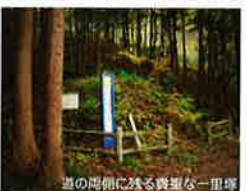
歴史

江戸時代の情緒を残す
風情ある会津西街道を歩く

「峡谷はますます美しくなってきた。まっすぐに伸びている杉の暗い森を登ってゆくと、素晴らしい場所があるこの村に着いた」
— 明治11年6月 イギリス人女性旅行家 イザベラ・バードの記録より —

会津藩や東北諸国と江戸を結ぶ会津西街道は、参勤交代や廻米道として多くの人が行き交う場所でした。今でも道筋のあちらこちらにひっそりと遠い歴史の面影が残っています。

戊辰戦争の際に土方歳三が会津西街道を通過しており、また、冒頭で紹介したイザベラ・バードも五十里宿に宿泊し、三依地区の美しい風景を記録に残しています。



街道沿いに多くの史跡が残る三依地区ですが、特に上三依塩原温泉口駅近くに残る、会津西街道の旧道散策がおすすめです。

長さ約200m、道幅3m弱のこの道は、ほぼ完全な形で残っている一里塚や野仏群を見ることができ、歴史的価値の非常に高い場所です。先人たちが大切に守り続けてきた三依の歴史と美しい自然が織りなす風景は、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのよう。

温泉

街道巡りに欠かせない温泉
優しいお湯で旅の疲れを癒して

中三依温泉駅から徒歩5分圏内に、2つの温泉があります。美しい山河に囲まれ、最高にリラックスできるひと時。是非お立ち寄りください。

●中三依温泉 男鹿の湯（みよりふるさと体験村内）

無人駅のすぐそば&川遊び&BBQ もできる珍しい立地のキャンプ場にある温泉施設。宿泊者は入り放題なので、温泉に入ってコテージで寛ぐもよし、ライブラリの本を片手に Bar でお酒を楽しむもよし。



●そばの宿 まるみの湯

国道沿いにある蕎麦屋併設の温泉宿で、日帰り入浴も可能。共同浴場のような趣のある建物です。冬期休業中は木工をされているご主人。テーブルや椅子などが並ぶ木工ギャラリーも必見です。



水辺

季節や天候で表情を変える
美しい滝と男鹿川



●赤城滝

横川集落、国道121号沿いの峠沢にある滝。台風等の出水後は河床の苔などが一掃され、白い岩が露出した様子を見ることができます。



●不動滝

横川集落に入り、国道左手にある滝。落差10mほどで迫力があり景観も良いです。不動橋(国道)は道幅が狭いため、鑑賞の際には車にご注意ください。

地元の方が大切にしている自然であり、多くの生き物が生活する場所でもあります。マナーを守って気持ちの良い旅をしましょう。

釣り

関東地方 第1位の水質を誇る男鹿川
釣りが好きなら三依に来なくちゃ!

男鹿川では大自然の中でイワナ・ヤマメやアユを釣ることができます。本格的な溪流釣りはもちろん、気軽に楽しむことができる管理釣り場もあるので、初心者でも溪流釣りを体験できますよ。
※2018年国土交通省調べ 関東地方一級河川141地点中

三依を流れる清流「男鹿川」で溪流釣りを楽しもう!

●どんでん滝(中三依)

大物が釣れる人気のポイントです。憧れの尺物に出会えるかも?

男鹿川は岩盤質の川で少量の水では濁りが入らず、透明度が高い透き通った清流です。本流から支流まで他にも多くのポイントがあります。



※必ず遊漁券をお買い求めのうえ、遊漁規制やマナーを守って釣りを お楽しみください。

ファミリーやカップルに人気!手ぶらでOKな管理釣り場



●三依溪流つり場

三依溪流つり場は、三依の豊かな自然をそのまま利用した本格的溪流管理つり場です。中三依温泉駅から徒歩30分なので、都内から電車で行ける人気の釣り場です。

●ナラ入沢溪流釣りキャンプ場

わさびが自生する湧き水に囲まれた環境で溪流釣りができるキャンプ場です。釣りだけではなくキャンプやBBQなど幅広く楽しめるスポットです。



アクセス



マイカー・レンタカーで

- JR 磐越西線 会津若松駅前から 約90分
- JR 東北新幹線 那須塩原駅前から 約60分
- 東武線 鬼怒川温泉駅前から 約35分
- 東武日光駅/JR 日光駅前から 約60分

東京から電車で



鉄道に関するお問い合わせ
東武鉄道お客さまセンター / 03-5962-0102
営業時間 / 8:30~19:00
年中無休 (ただし年末年始を除く)

私を癒してくれる旅

美しい山、美しい川、美しい心
栃木県日光市最北端の地

みより 三依地区

鬼怒川の源流のひとつ、男鹿川。三依地区にはこの男鹿川の清流が育む美しい風景が広がっており、おいしい水がつくる蕎麦が名物です。三依地区は、6つの集落から成りますが、南の五十里から北の横川まで、「みより蕎麦街道」として多くの蕎麦屋が並びます。

フクロウの里 (芹沢集落)

2015年の関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた芹沢集落を元気にしようと、地元の方がフクロウのチェーンソーアートで幸せロードをつくっています。各家の前には屋号やすてきな言葉の書かれたフクロウたちが並んでいて、歩くだけでも楽しくなります。このフクロウを置いてから子宝に恵まれたり病気が治ったり、幸せが訪れると評判です!



【みよりの人々】
じねんと(無理せず楽せず、そして他と比較せず)生きている。

芹沢集落への行き方

中三依温泉駅で下車
▶ 芹沢薬師堂まで約3.4km (徒歩約45分)
フクロウのチェーンソーアートや花を眺めながらの散策が楽しめます。

独鈷清水

かつて下三依村と呼ばれていた独鈷沢。弘法大師が猛暑の折にこの地を通り、道端の家に立ち寄り水を求めたところ、里人がわざわざ谷底の男鹿川まで下って水を提供したそうです。その親切に感謝し、水に難渋する村人のために持っていた独鈷を地上に突き立てると清水が湧き出て沢となったことから、独鈷沢と呼ぶようになったと伝えられています。以来、独鈷沢の人々は「弘法様が授けてくれた水」として、この場所を大切にしています。

【アカショウビン】
ヒョロヒョロ...と鳴く美しい鳥は、野鳥カメラマンたちの憧れ。繁殖期は梅雨時で雨乞い鳥などとも呼ばれています。



美しい山、美しい川、美しい心 関東No.1の水質 -三依地区-

芹沢薬師堂

薬師様を背負って全国を回っていた旅人が芹沢村でひと休みしたところ動けなくなり、薬師様がこの村を気に入ってしまったに違いない!と村人に頼んでお祀りしてもらったことがこの薬師堂の始まり。眼病にご利益があるとして厚い信仰を集めています。室内には江戸の絵師が三十六歌仙の肖像と代表歌を描いた「三十六歌仙扁額」が掲げられており、年に一度の御開帳の際に見ることができます。



特急が停まる秘境駅 (男鹿高原駅)

1日の平均乗車人員0.96人。秘境駅ランキング2019では関東1位にランクイン! 電車から降りると沢のせせらぎと木々の揺れる音しか聞こえません。周辺には家が1軒もありませんが、待合室のノートには各地から訪れた旅人たちのメッセージが綴られています。



横川一里塚 (呼ばわり岩の一里塚)

旅人の目印として1里ごとに設置した塚を一里塚といいます。片側は消失してしまいましたが、現在も国道沿いに残っています。道側に大きく突き出た岩があり、大声で怒鳴るところだまになって反響することから、呼ばわり岩と言われて旅人の目印になっていました。



【みよりっ子】
健康診断で通っているお医者さんによると、三依の子どもたちは目がキラキラしているそう。

会津西街道旧道

国道400号と男鹿川の間にある、長さ約200m、幅3m弱の旧道。江戸時代の面影を良く残す、趣のある道です。緑に包まれた旧道は車両進入禁止なので、タイムスリップした気分を味わえるかも?

横川集落の滝への行き方

おじかこうげん 男鹿高原駅で下車
▶ 不動滝まで約1.2km (徒歩約15分)
▶ 示現滝まで約2.4km (徒歩約30分)

会津西街道旧道への行き方 (上三依一里塚、野仏群)

かみみより 上三依塩原温泉口駅で下車
▶ 旧道入口まで約290m (徒歩約4分)
江戸の面影を残す道。車は入れません

上三依一里塚

旧道の両側にほぼ完全形で残っている貴重な一里塚。塚の上には榎が植えられ、夏は木陰に休み、秋は実を採って飢えをしのいだといわれています。手前には野仏群が並んでいます。

ヒマヤラの青いケン (上三依水生植物園)

透き通るような淡い青色が美しく、高山帯が原産地のため日本では夏を越すことが困難な種。「天空に一番近い花」とも言われています。例年の見頃は5月下旬。花言葉は「神秘的」「底知れぬ魅力」

【カモシカ】
愛くるしい眼差しのカモシカは、じつはウシ科の動物。三依ではよく遭遇します。三依は地区全体がサファリパークのよう。カモシカは人を襲いませんが、森には人間や田畑に悪戯をする動物も暮らしています。散策や登山の際は、十分注意してくださいね。



(時刻・料金等は2020年2月現在)

鉄道旅の目安

9:00	浅草駅 発	(特急リバティ会津/全席指定)	
11:49	中三依温泉駅 着	¥4,170	
湯西川温泉駅			
7分	中三依温泉駅	¥420	
4分	上三依塩原温泉口駅	¥300	
5分	男鹿高原駅	¥300	

(この区間は特急も普通料金で乗車可)

「ゆったり会津 東武フリーバス」もおすすめ。
発駅〜下今市間往復乗車券 + フリー区間乗車券 (下今市〜東武日光・会津田島間)
浅草駅から乗車の場合: 大人 ¥5,950 小人 ¥3,010
http://tabi.tobu.co.jp/ticket/honsen/c01_d.html



- 宿泊施設
- キャンプ場
- 温泉施設
- 釣り場
- そば屋
- 飲食施設
- カフェ
- わさび売店

※営業時間はホームページ等でご確認ください。

上の清水

参勤交代で上下する武士や旅人、荷を運ぶ馬方たちの喉を潤し、憩いの場所であったと伝わる湧き水。中三依温泉駅で降りて国道に出ると、古い橋のもとにこの湧き水が見られます。

五十里警備隊-(柴犬)

鹿、猿、猪などの出没が多い三依地区。宿泊客のみならず安全を守るため、2匹の柴犬が頑張っています! たくさんの雑誌やテレビにも取り上げられる人気者です。



五十里湖

江戸時代の大地震で土砂が深い谷を塞ぎ、五十里集落が水没してできた湖。その後堰き止めていた岩石を一挙に押し流す豪雨が頻発し、天然湖はなくなりましたが、昭和25年の五十里ダム建設により、再び男鹿川を堰き止めて人造湖となりました。紅葉と湖の美しいコントラストは必見! 水位によっては湖底の木が島のように頭をのぞかせる幻想的な風景が見られるかも。

